

	2014年公約(Manifesto)の内容	活動内容	評価
14	いばらきの郷育(きょういく)を推進します。郷土いばらきを誇れるような学習を導入します。	29年一般質問で「郷育の確立」について教育長に質問。全小中学で副読本を活用し取り組む。郷土検定実施により郷土の誇りが醸成された。	○
15	偕楽園公園の魅力向上を推進します。	私の提言により、偕楽園の魅力向上のための募金活動が始まった。①から④について精一杯頑張りました。	○
	①岩間街道から表門へのアプローチを整備します。	新東町体育館の裏を駐車場に整備することにより、表門への新たなアプローチとなる。30年土木委員会委員として、今年度本格的に整備実現に頑張っており、進捗が速い。	△
	②「夜梅祭」を始めとするライトアップの充実を図ります。	私の提案であるライトアップ「夜の散歩道」がバージョンアップされた。偕楽園、弘道館においてプロジェクションマッピングが始まる。	◎
	③おもてなし観光の模範にします。	私の提案により、高齢者や車いすでも散策してもらえるように、バリアフリー化がされた。更にバリアフリー区域が広がる予定。	○
	④新偕楽園駅の整備計画に着手します。	県議会で質問し、対応を考えるという答弁を引き出す。高橋水戸市長との連携により、水戸市商工会議所に新駅設置協議の組織が立ち上がる。	△
16	文化と歴史が溢れる、県都として誇れる水戸市にします。若者に、天下の魁と言われる水戸学を知ってもらい、水戸学の精神に触れるきっかけづくりをします。	偕楽園や弘道館のハード整備はもちろんのことソフト事業についても多く提言をし携わった。また様々な団体の行事に参加し啓蒙に努めた。	○
17	県立東町体育館が水戸市に移管されることをきっかけに、スポーツとコンベンションの拠点となるよう整備に力を注ぎます。	高橋水戸市長との連携により、県からの財政支援を始めとし、活用方法について相談と協議をしながら進めている。	○
18	いばらき弁を誇りに思い、守っていき、茨城文化の伝承をします。	27年防災環境商工委員長として、様々ないばらき弁関係の大会等への協賛や支援をお願いするなど茨城文化の伝承を推進した。 ※NHKテレビ小説「ひよっこ」で茨城弁が話題になったことは良かったと思う。	○

【福祉】人と人との思いやりで

19	障がいを持つ人の雇用を推進します。新たに100名の雇用を目指します。 私の提言により全ての県有施設の清掃業務入札において、障がい者の雇用を条件化することにより、54名の障がい者が雇用されました。この施策を市町村に推奨し、障がい者雇用を促進します。	28年一般質問において知事に提言する。しかしながら県での雇用は24年度54名 → 29年度54名と新たな雇用を生み出せなかった。市町村への働き掛けも25年度12市町村 → 29年度20市町村であった。	△
20	安心できる医療と福祉(介護)の環境を整備します。	27年いばらき自民党政調会の保健福祉部会長として、福祉(介護)の整備促進を働きかけてきた。特別養護老人ホーム25年208箇所 → 29年247箇所。	○
21	私が提唱した「茨城をたべよう運動」を推進します。茨城をたべよう運動とは、県農産物水産物の地産地消運動です。	28年農林水産委員長時に、地産地消運動を推進し、運動方法について様々な提言を行った。	○

2014年公約の活動結果

た
ち
静
馬

し
ず
ま



【教育・子育て】一人の父親としての子育て政策の実現を目指し

	2014年公約(Manifesto)の内容	活動内容	評価
1	県内保育園での215名(H25)の待機児童を0名にします。	25年度から29年度までに194箇所の保育園を整備し、定員も12,315人増加したが、30年4月時点で待機児童数は386人と増加してしまった。	×
2	女性が安心して働ける保育サポート体制を確立します。 日曜や夜間、病時の保育サポート体制を整備します。	病児保育箇所:25年75箇所(28市町村) → 29年116箇所(37市町村)	○
1,2	1,2については27年いばらき自民党政調会の保健福祉部会長として、待機児童の解消策、保育士の待遇改善等を県だけでなく国に対して要望活動をしました。		
3	放課後の居場所づくりを充実します。 平成27年から学童保育が小4から小6に拡大されます。「子ども教室」、「児童クラブ(学童保育)」の連携により、学力向上の場としての活用、遊びの中で学ぶ子どもらしい居場所をつくります。	29年度 放課後子ども教室343箇所。児童クラブ889箇所。一体的又は連携して実施しているのは219箇所。 18年第一定例会本会議で学力向上の場にする施策を提案する。	○
4	学校給食における地場産物活用を50%にし、食育教育を推進します。	25年度39.7% → 29年度54.8% 18年第一定例会本会議で更なる地場産物活用を提案する。	○
5	日本を誇れる歴史教科書を導入します。 子ども達に正しい歴史を学んでもらう。まずは県立中学校で選定します。	県立中等学校の教科書採択について、県教育委員が直接的に採択できる仕組みが出来たので、責任ある教科書を採択していただいたと思う。	○
6	親学習というべき「家庭の教育力向上プロジェクト事業」の充実を図ります。 平成16年に私が提言し作成された「家庭教育ブック」を更に向上させ、親の意識改革を図ります。	いばらき自民党として「茨城県家庭教育を支援するための条例」を議員提案により制定する。条例の中に盛り込まれる。	○
7	県民と行政の協働による、子ども達にとって安心・安全な地域をつくります。	27年防災環境商工委員長として、通学路安全対策に対して意識啓発や指導者らの資質向上を図る等の事業に積極的に取り組む。	○
8	31年の茨城国体に向けて、アスリートの育成とスポーツ環境の充実を図ります。	29年、30年「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」委員に選任され、様々な提言を行い国体運営に反映される。	○

【環境】未来を考える循環型社会

9	犬の殺処分ワースト1位を返上します。	28年度ワースト3位になる。25年度(3,177頭) → 29年度(338頭) 参考:17年度から24年度まで連続ワースト1位。25年度ワースト2位。	○
10	いばらきの湖水をキレイにします。 千波湖に試験的に霞ヶ浦導水を利用することを試みます。	27年防災環境商工委員長時に、高度処理型浄化槽の促進や霞ヶ浦浄化の「見える化」の実験等を提言する。但し、まだキレイになっていない。	△
		県にも国に働きかけるよう提言したが、霞ヶ浦導水事業について国と那珂川漁協他と係争中のため、試みることもできませんでした。	×
11	リサイクル率30%を実現します。 平成24年 21.3% (全国18位)を向上させます。	28年本会議を始めとして様々な提言をしましたが28年度22.3% (全国12位)と目標の30%は達成しなかった。	△

【行財政改革】

12	議会改革を推進します。 議員の本分である議員条例をつくります。	27年「がん検診推進条例」、28年「犬猫殺処分ゼロを目指す条例*」をPTリーダーとして取りまとめ、議員提案により県議会で可決した。*全国の地方議会で初めての条例制定。	◎
13	提言してきた県民参加型の茨城県版事業評価を実現します。 平成24年の決算特別委員会で提言した、茨城県版事業評価を実現し、県民と共に考え提唱する茨城県にします。	決算委員会では24年の提言から、新たに重点項目の審査が設けられた。29年決算委員会委員時に、新たに事業評価について提言を致しました。	△